

# Yu-Gi-Oh! WORLD CHAMPIONSHIP 2019

## セレブレーションイベント（日本国内） 大会罰則規定

### 1. 罰則の適用の基本方針

下記規定は指針であり、ヘッドジャッジ・審判は情状を酌量して罰則を軽減もしくは追加できる。

同一の違反を繰り返した場合、ヘッドジャッジ・審判はより上位の罰則を適用できる。

罰則はヘッドジャッジ・審判の判断によってのみ適用される。プレイヤーや第三者が罰則の適用及び適用された罰則に対する不足を要求する事は認められない。

尚、全ての違反が下記に網羅されている訳ではない。

### 2. 罰則の種類

※本大会では「注意」を廃止する

**長考・遅延行為・相手プレイヤーを威嚇するような過度な手札シャッフルなどは「警告」の対象となるので十分に注意する事**

#### A 警告

- 警告は、その行為が大会規定等に違反している事をプレイヤーに伝える事を目的とする。
- 審判はその行為が悪質であると判断する場合、より上位の罰則を適用する事ができる。
- 警告は公式に記録される。

#### B デュエルの敗北

- この罰則が適用された場合は、そのプレイヤーは進行中のデュエルに敗北する。
- デュエルとデュエルの間に違反した場合は、次のデュエルに適用する。
- デュエルの敗北は公式に記録される。

#### C マッチの敗北

- この敗北が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北する。
- マッチとマッチの間に違反した場合や、すでに敗北が決まっているマッチで違反した場合にはヘッドジャッジの判断で次のマッチに適用することができる。
- マッチの敗北は公式に記録される。

## D 失格

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北し、大会を失格となる。
- プレイヤーが失格前に獲得していた賞は、そのまま受け取る事ができる。
- 失格は公式に記録される。

## E 受賞資格を失う失格

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北し、大会を失格となる。
- プレイヤーが失格前に獲得していた受賞資格も失われる。
- 受賞資格を失う失格は公式に記録される。

## 3. 違反行為の種類について

違反行為は、基本的には反意図的であると見なされるが、反スポーツマンシップ的な不正行為については例外である。審判が違反行為が意図的だと判断した場合、罰則は適時格上げされる。

※以下、違反行為の種類とそれに対する罰則の例

### A. デッキに関する違反

- デッキが 40 枚未満である。  
罰則：デュエルの敗北：デッキに適正なカードを追加し 40 枚に直す。
- デッキ（エクストラ・サイドデッキを含む）に使用できる枚数以上のカードが含まれている。  
罰則：デュエルの敗北：デッキから不適切なカードを取り除き、使用可能なデッキに修正する
- デッキ（エクストラ・サイドデッキを含む）に同一カードが 4 枚以上含まれている。  
罰則：デュエルの敗北：デッキから不適切なカードを取り除き、代わりのカードをサイドデッキから追加する。
- デッキ（エクストラ・サイドデッキを含む）に使用できないカードが含まれている。  
罰則：デュエルの敗北：デッキから不適切なカードを取り除き、代わりのカードをサイドデッキから追加する
- デッキ（エクストラ・サイドデッキを含む）に「禁止カード」、制限以上の「制限・準制限カード」が含まれている。  
罰則：デュエルの敗北：デッキから不適切なカードを取り除き、代わりのカードをサイドデッキから追加する
- デッキリストとデッキ内容が異なっている。  
罰則：デュエルの敗北：デッキをデッキリスト通りに修正する。

### B. ルール・手順などに関する違反

- 故意ではなく、ルールを誤解したプレイをした。  
罰則：警告

※この違反の後、次の重大な判断が行われる前であると審判が判断した場合であるならば、ゲームを元の状態に戻す。

この違反の後、すでにゲームが進行し、重大な判断が行われた後であると審判が判断した場合であるならば、ゲームはそのまま進行する。使用したカードは墓地へ置く。（墓地へ置いた事によって、効果の発動や処理は行わない）。しかし、プレイヤーが本ルールを悪用する場合、数度も違反を犯した場合はヘッドジャッジの判断によってそれ以上の罰則が適用される場合もある。

●**デュエルに必要な無いものをフィールド上に置いた**

罰則：警告 フィールドから不要なものを取り除き、プレイを続行する。

●**デュエル中に携帯電話・スマートフォン等を使用した**

罰則：警告 携帯電話・スマートフォン等を別の場所に置く。

※プレイヤーは携帯電話・スマートフォン等を計算機やタイマーとして使用する事はできない。

●**故意ではなく、過剰にカードを引いた。**

引いたカードが両方のプレイヤーに明確な場合、もしくはジャッジによって論理的に特定できる場合：

罰則：警告 引いたカードが手札や他のカードと混同せずジャッジによって特定出来る場合、過剰に引いたカードをデッキに戻しシャッフルする。

罰則：警告 引いたカードが手札や他のカードと混同した場合でも相手またはジャッジによって容易に特定できる場合、ゲームの状態はまだ修復可能であり、過剰に引いたカードをデッキに戻しシャッフルする。

引いたカードが両方のプレイヤーに明確でなく、ジャッジによって論理的に特定もできない場合：

罰則：デュエルの敗北 引いたカードが手札や他のカードと混同しジャッジ・相手プレイヤーからも判断出来ない場合

●**故意ではなく、過剰にカードを見た。**

罰則：警告

見てしまったカードを適切な場所に戻す。（デッキのカードであった場合、デッキはシャッフルしない）

●**ルールやカードの効果によらず、故意に手札などの非公開情報となるカードなどを相手に公開した。**

罰則：警告

## C. 遅刻

●**指定の集合時間に自分の席についていなかった。**

罰則：警告

●**指定の集合時間後 3 分経過しても、自分の席についていなかった。**

罰則：デュエルの敗北

●**指定の集合時間後 6 分経過しても、自分の席についていなかった。**

罰則：マッチの敗北

## D. カードへのマーキング・・・裏の状態での区別のつくカード、または加工されたカードの使用

※マーキングとは、カードの表面・裏面・又は両面に対するものを意味する。

※マーキングされたプロテクターの使用も禁じる。

※使用するカード以外の何かをプロテクター内に入れる事も禁じる。

●**カードの表面・裏面に何らかの加工が施されていた場合**

罰則：警告 プロテクターを交換するなど、区別のつかない状態にする。

※加工が施されているカードの枚数・マーキング次第ではデュエルの敗北・マッチの敗北にアップグレードされる場合がある

●**裏の状態で区別が付き、規則性がない場合**

罰則：警告 プロテクターを交換するなど、区別のつかない状態にする。

●**裏の状態で区別が付き、規則性がある場合**

罰則：デュエルの敗北 プロテクターを交換するなど、区別のつかない状態にする。

## E. 必要以上に長い時間をかけたプレイ

●**故意ではなく、不必要に長い時間をかけたプレイ**

罰則：警告 この違反により、マッチの結果に影響があったと審判が判断した場合、審判の判断により罰則が追加される場合がある。

●**故意に、不必要に長い時間をかけたプレイ**

罰則：マッチの敗北、もしくは失格

例：「1 ターン中に何度もカードテキスト確認を要求する」「毎ターン、何度も自分の墓地やエクストラデッキのカードを確認する。また、相手の墓地のカードの確認を過剰に要求する」「一手一手に長時間の思考を要求する」「対戦中に不必要なルールの確認を何度も審判に求める」など。

※上記罰則適用時は最低 3 分の時間延長が認められる。(ただし、「マッチ終了手順」に入っていない場合に限る)

## F. スポーツマンシップに違反する行為

●**デュエル中に他のプレイヤーまたは、観戦者等の第三者からアドバイスを受けた。**

罰則：警告。この違反により、マッチの結果に影響があったと審判が判断した場合、審判の判断により罰則が追加される場合がある。

●**デュエル中に他のプレイヤーまたは、観戦者等の第三者に話しかけた。**

罰則：警告。この違反により、マッチの結果に影響があったと審判が判断した場合、審判の判断により罰則が追加される場合がある。

●**プレイヤーの応援者等が相手プレイヤーに対して「せかす」・「罵倒する」等の行為を行った。**

罰則：警告。プレイヤーの応援者等の行為もプレイヤー自身の行為としてみなす。

この違反により、マッチの結果に影響があったと審判が判断した場合、審判の判断により罰則が追加される場合がある。

## G. 不正行為について

●デュエルの途中で、対戦相手との合意によって、ルールやカードの効果に定められていない方法による勝敗の判断を行った。または、デュエルの途中で、対戦相手との合意によって、ルールやカードの効果に定められていない方法によってデュエルを終了した

罰則：両方のプレイヤーがマッチの敗北

●対戦結果を偽って報告した

罰則：受賞資格を失う失格

●カードのシャッフル・カット時に自分・相手プレイヤーのカードを故意に見る

罰則：受賞資格を失う失格

●故意に必要以上のカードをドロウする

罰則：受賞資格を失う失格

●故意にカードテキストについて嘘をつく

罰則：受賞資格を失う失格

●故意にライフポイント、手札の枚数などについて嘘をつく

罰則：受賞資格を失う失格

●自分、また相手のデッキの内容を事前に操作・その場で操作する

罰則：受賞資格を失う失格

●自分の体の一部や物を使ってフィールド上、または手札のカードを意図的に隠す

罰則：受賞資格を失う失格

●故意に、途中棄権した

罰則：受賞資格を失う失格

●マッチを意図的に引き分けにする

罰則：両方のプレイヤーが受賞資格を失う失格

●対戦を行わず、ジャンケンなどの方法で勝敗(引き分けを含む)を決定

罰則：受賞資格を失う失格

●金銭などメリットの提供を約束し、対戦結果を操作した

罰則：受賞資格を失う失格